

エッセンシャル ワーカーへ甘い贈り物

 2.4
fri

三井高校スイーツ部が、JAみいから小郡市へ寄贈されたあまおうを使って、スイーツを作りました。

スイーツ部は、全国の高校生料理選手権で入賞するほどの腕前。生地にイチゴのペーストを練り込み、中にジャムを入れて焼き上げ、特製マドレーヌを完成させました。

三井高校は後日、市内のごみ収集で市民生活を支える共栄資源管理センター小郡を訪問。日頃社会インフラを支えるエッセンシャルワーカーの皆さんにお菓子をプレゼントしました。従業員は「甘くておいしい。気持ちが伝わり、仕事の励みになる」と笑顔で話してくれました。



黒岩稲荷神社 初午祭

 2.10
thu

2月最初の午(うま)の日に、黒岩稲荷神社で初午祭(はつうまさい)が行われました。初午祭は全国各地の稲荷神社で行われる祭事で、多くの方が参詣します。黒岩稲荷神社は、鎮火の神としても厚く信仰されており、授与所では火除けの御守りである「燈真(とうしん)」を求める人の姿も見られました。

感染症対策のため、規模の縮小を余儀なくされた今年の初午祭。それでも「参拝者に喜んでほしい」という地元の方の思いから、おこしや油揚げなどを販売する出店が立ち並び、多くの方でにぎわいました。



フレイル部門1位受賞 食と地域をつなぐレシピ

 1.20
thu

小郡市健康を守る母の会(食生活改善推進員、以下「健母の会」)の田籠久美子さん、松尾寿恵さんが福岡県チャレンジレシピコンクール・フレイル部門で第1位となりました。

健母の会は、日頃から地域で食を通して食育や健康の啓発活動を行っています。

この献立は、「食をとおしてコロナに負けず、食を楽しんでほしい」という思いで考案。メニューは、トマトリゾット、博多一番鶏を使ったテリーヌ、豆腐のプリンなどです。

田籠さんと松尾さんは「市民の皆さんにもぜひ作ってほしい」と話しました。レシピは市ホームページに掲載しています。



災害時の避難を考える 防災講座

 1.29
sat

ふれあい館三国で「避難所ってどんなところ？」をテーマに、防災講座が行われました。

講座では、地震が発生したときに避難所で想定される状況や運営の説明、また段ボールベッドの組立てや防災倉庫の資機材などの説明がありました。実際に段ボールベッドに寝た小学生は「家の布団と比べたら、あまり寝心地は良くない」と率直にコメントし、それに対し市は「災害を想定して避難所に必要なものは、自身で事前の準備をお願いします」と事前準備の重要性を呼びかけました。

